

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292400072		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコートちはら台(1階)		
所在地	千葉県市原市ちはら台東9-11-4		
自己評価作成日	平成24年2月1日	評価結果市町村受理日	平成24年4月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-5-12 みゆきビルbizcube7F		
訪問調査日	平成24年2月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「笑顔で元気に」という言葉を掲げ、職員自身が将来「ここに入りたい」と思える施設にしようと、日々お客様のことを思い、感じて日々のケアに動いております。お客様が自由に生活し、尊厳のある人間として自立して過ごせるようお手伝いさせていただきます。認知症が、どのようなレベルであろうとも、ここを終の住処として、その人らしく快適に暮らしていけるように、お手伝いさせていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「笑顔で元気に」をホームのモットーとし、職員間で共有しながら、日々笑顔で元気良く利用者と接することができるように取り組んでいる。職員にも活気がありホーム全体が明るい雰囲気である。日々の支援では、近隣の公園までの散歩を日課としているほか、いちご狩りや外食、買い物などを通じ利用者の活動性を高めている。また、地域との交流も前進しており、地域のお祭りや防災訓練、地区の敬老会への参加を通じ、地域の方との交流を深めている。今後に向けては近隣の幼稚園や保育園とも連携を深めていく事を模索しており、より一層の連携強化が期待できる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の社是、経営理念、心得のほか、職員で考えた理念を基に実践しております。また、共用部、事務所に理念を掲げて下ります。	法人の社是、経営理念、心得を事務所内に掲示しているほか、「笑顔で元気に」をホームのモットーとし、職員間で共有しながら、日々笑顔で元気良く利用者と接することができるように取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会や民生委員様と連携し、地域活動に積極的に参加し夜間パトロールや清掃活動などしております。	地域との交流では、地域のお祭りや地区の敬老会、地域防災訓練への参加、また、地域の方との協働での夜間パトロールの実施等を通じ、地域との交流図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出来ておりません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域での活動状況や利用者情報を中心に質疑応答でアドバイスを頂いております。	運営推進会議には、地域包括支援センター、行政職員、自治会長、民生委員、地域の方が参加をし、2カ月に一度定期的に開催している。会議では事業所の状況報告のほか家族や参加者からの要望や意見を収集し、サービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	お部屋の空き情報を報告させて頂いたり、定期的にお伺いし情報交換が出来るようにしております。	市の担当課との連携については、運営推進会議時での意見交換のほか、半年に一度、市と情報交換会があり、定期的に事業所の実情を伝え、協力関係が築けるよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	階段のドアはオートロックになっておりますが、日中は開錠しております。また、拠点会議や研修等を通じて職員の意識付けを行っております。	身体拘束廃止に向けた取り組みでは、ホーム内において身体拘束廃止研修を実施し、職員の意識を高めている。現状、玄関の施錠も含め身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	拘束や虐待に関しての研修会を開催し、きちんと、理解実践できるように指導致しております。		

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が受講した研修内容を全職員に伝えるため、拠点会議を利用し情報を共有している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご理解頂きやすいよう解りやすく途中に質問を受けながらご説明致して降ります。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設で行う行事等にご家族にも参加を呼びかけ来訪時や運営推進会議時にご意見を伺えるよう努めております。	内外の苦情窓口を重要事項説明書に明記し契約時に説明している。家族からの意見や要望については、運営推進会議時や面会時に直接伺い、家族等が意見や要望を表せる機会を設けている。	今後に向けては、「相談・苦情マニュアル」を整備するなど、相談や苦情を受け付けた際において手順が統一化されることに期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っている拠点会議や日々の申し送り時に職員の意見を聞き、全体で話し合い決定しております。	職員からの意見については、毎月の拠点会議時に収集しているほか、日々の申し送り時、雇用契約更新も兼ねた職員との面談も定期的に行い、職員からの意見を収集している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者はつきに1回、管理者から事業所内の報告や相談を受ける機会を設け、職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画に盛り込まれた社内外研修に加え、本社指定の特別研修などにも参加しております。eラーニングやスキルアップ講習を実施し、知識、技術の向上に役立てております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にある他事業者施設と交流を持ち、互いに見学し合える交流を持っております。		

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には十分注意を払い、お客様とのコミュニケーションを十分取り、状況の変化を常に把握できるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の来訪時に必ずお話ができるよう努めております。来訪されるのが難しい方へは電話やFAX、毎月送付しておりますお知らせにて不安等解消できるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	CM,それまでいた施設、病院、家族等からできるだけ多くの情報をもらい、今までの生活に近づけるようなサービスを心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	炊事、洗濯、掃除などの日常生活で行うことを、お客様と共にすることで信頼関係を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	季節を感じられる毎月の行事を企画し、ご家族と共に参加できるような環境作りを心がけております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、外泊の機会が増やせるようご家族にご相談を持ちかけ、それまでの生活により近づけるように、築いてきた交流を閉ざさないようにつとめております。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係継続の支援に向けては、友人の来訪や年賀状の返信、家族の方との外食等を通じこれまでの関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士が交流できる場を設け、共同作業などを通じ、より良い関係が築けるよう、孤立してしまうかたには個別ケアを通じ、少しずつ他お客様との距離を縮められるように努めております。		

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した後も気軽にご連絡頂ける様に声かけし、その後のお話をお伺いしたり出来るよう努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居される前の生活状況を十分リサーチし、出来るだけ本人の意向に添えるよう努めております。	利用者の思いや意向については、日常会話からの聞き取りや家族からの聞き取りを通じ、利用者の意向に沿った支援につなげている。また、ケアプラン作成時において、アセスメントを行い、利用者のニーズや現状の課題を抽出している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職歴、家族構成、性格、興味のあることなどをお聞きし、以前のサービスに関わっていた方々から情報を頂きケアに活かせるよう工夫しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の把握に加え、お客様の思いを感じられるよう、日頃の変化に注意をはらい、職員同志、ご家族も踏まえた情報交換が出来るようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に見直しております。変化があるような時は計画の見直しを考え、より良い生活に繋がるよう努めております。	アセスメントで得た情報を基に、ケアチェック要約表を作成し担当者会議において家族や職員の意見を収集しケアプランを作成している。またモニタリングを定期的の実施し、プランで掲げた目標に対する達成状況を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態を記録し、変わったことや気づいたことなど他職員と情報の交換ができるように朝礼時や拠点会議を利用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域コミュニティセンター開催の囲碁教室やポッチャ、演奏会などに出かけたり、スーパーマーケットなどにお買い物に行ったりしています。		

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事に進んで参加し、地域の方たちとの交流が深められるよう地域清掃や夜間の巡回に励んでいます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に必ずご説明し、担当者会議を開きご本人、ご家族、主治医、施設管理者と話し合い、今後の方針について納得していただいた上で、受診していただいております。	ホーム提携先医療機関による往診が月2回あるほか、主治医とは常に連携し、緊急時においても迅速に対応できる体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関の看護師、看護資格所持のスタッフに相談し助言を頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は担当医、看護師等に生活状況、状態を出来るだけ詳しく情報提供しております。また、主治医には退院後に気をつけることや、治療についてヒアリングをしております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設としてできること、できないことを明確に説明し、ご本人ご家族様が納得した上、ケアの方向性を主治医を交えて話し合い、スタッフが共有して取り組んでいます。	重度化や終末期に向けた方針については契約時においてホームとして取り組めることを家族に伝え、できる限り早い段階で方針を説明している。また、重度化を向かえた際には、家族や主治医を交え協議し今後の支援方針を決定していくこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署主催の救命救急講座を定期的に受講しており、急変時などの対応に役立てております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署指導の基、年に2回の消火訓練、避難訓練、通報訓練を行い、災害時にすばやく対応できるようにしております。	年2回防災訓練を実施している。訓練では消防署立会いの下、消火、通報、避難訓練を実施している。また、地域の防災訓練にも参加し、利用者が安全に避難できる方法を身につけられるよう取り組んでいる。	

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの生活暦を把握した上で、人格を尊重し、敬う気持ちを大切にし、接するよう心がけています。	利用者に対して不適切な対応にならないように、特に利用者の名前の呼び方やトイレ誘導時の声かけ、トイレ介助時にはドアを開放したままにしないなど、プライバシーや羞恥心に配慮し日々支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人ができること、やりたいことをお客様と共に考え、お聞きし、自己決定して頂けるようにしています。時間に添ったサービスにならず、お客様の希望に添ったサービスになるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の気分によっては、入浴日を変更したり、時間をずらしてお食事を召し上がっていただいたりと、本人のリズムに合わせたサービスになるよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人、ご家族の希望で散髪やパーマをかけたり白髪染めをします。お化粧品のお手伝いや、お召し物の色合わせの相談など、お客様に選んでいただけるよう心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、味付け洗い物など、出来るだけ一緒に行っていただけるようにお声かけしております。	食事の準備には利用者も関わりながら、職員と一緒に実施できるよう支援している。食事の楽しみでは地区の敬老会に参加した際に行事食を頂いたり、誕生日には御赤飯の提供、プランターで野菜を栽培する等、各種取り組みを通じ楽しみにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がつくる献立でバランスの摂れたものを提供しています。水分量は、ある程度設定された分量を下回らないよう気をつけています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師による口腔ケア指導を受け、毎食後のケアはもちろん、入床前の義歯洗浄など、清潔保持に努めております。		

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、過去の記録を遡り、失敗してしまう前にトイレの声かけができるようにしております。	利用者一人ひとりの排泄状況については「個人記録」に残し、職員間で排泄パターンを共有している。日中は、定時の声かけや誘導により、トイレで排せつできるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	偏食、水分補給不足などに注意しながら排便周期を記録し、主治医と相談しながらとりにくんでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	目安になる入浴予定はありますが、本人の希望を確認して、時に、時間や日にちを変えたり、入浴剤などを入れ、楽しんでいただけるように工夫しております。	入浴については、目安となる入浴予定は作成しているが、利用者の要望に応じて入浴できるよう支援している。入浴中は職員も介助につき、安全に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の日々の過ごし方を把握し、主治医に相談しながらリズムを崩さず安眠できるように努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に主治医と共に薬剤師さんに立ち会っていただき、薬剤の説明、服薬ご指導をしていただき、職員が把握しやすいように薬表を作成しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を活かし、飽きのこない毎日が送れるように、職員それぞれがアイデアを出し、気分転換できるメニューを考えております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の公園にお散歩に出かけるのが毎日の日課ですが、買物や、外食、季節に合わせた果物狩りなどに出かけております。	近隣の公園までの散歩を毎日の日課にしているほか、いちご狩りやファミリーレストランでの外食、嗜好品の買い物など、定期的に外出できる機会を提供し、戸外活動の充実に取り組んでいる。	

グループホームガーデンコートちはら台(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	購入したい物品がある場合は、お預かりしていますお小遣いの中からご本人の欲しいものを選んで購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用は希望時に対応しており、年賀状などのお手紙が来たときにはお返事を書くように勧めています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や、共同フロアに季節に合わせた装飾をし、ゆったりとしたソファでくつろいでいただけるようにしております。	利用者が集うリビングには、季節に合わせた装飾を行うほか、ソファを配置しくつろげる空間を確保し、居心地良く過ごせるように配慮している。また、歩行の妨げになるものは放置せず、安全性にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったお客様同志で共通フロアで雑談をしたり、玄関にありますすに腰掛け、一人の時間を過ごされたりできます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使い慣れたものを、入居の際にお持ちいただけるようにご協力をお願いしております。	居室には、ご自宅で使い慣れたものを持ち込めるように配慮しているほか、ベッドや家具の配置についても利用者や家族と相談しながら決定し、居室内においても居心地良く過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様のできること、わかることを職員が把握し、自立した生活が送れるように、新聞を読まれたり、掃除、食事配膳、洗濯などの声かけをしております。		